

「地域イノベーション研究」発刊について

鳥取環境大学地域イノベーション研究センターは、発足後ほぼ1年を経たところであり、この間の主な地域研究、取り組みを今回「地域イノベーション研究」として集約しました。

当センターは、研究機関として主に鳥取を対象とした地域研究を深めることを目的としていますが、同時に人口減少や産業、生活基盤の衰退、また、地域資源活用などの地域固有の課題に研究成果を生かした実践的な対応に取り組むことも目的としています。

社会環境が大きく変化しつつある現在、地域課題への対応は従来の社会慣習や組織パラダイムを超える新たな取り組みが求められています。当センターの研究と取り組みは地域社会においてイノベーションを実践し、豊かな地域生活形成に寄与することを理念としています。

イノベーションは多様な研究や実践的取り組み、また、試行錯誤の繰り返しから鍛えられ形を成すといえます。その過程においては諸活動が地域に周知・共有され、地域と共同した取り組みができる環境が必要です。

本報告は、地域研究成果とその実践的取り組みを地域と共有することを目指し集約したものです。地域イノベーション研究センターの活動は、1年弱に過ぎず不十分なものですが、今後本報告を含め充実をめざしてまいります。

2013年3月

地域イノベーション研究センター

センター長 千葉雄二